

第31回関東甲信越地区研究協議会栃木大会（第1次案内）

＜研究主題＞

学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
～共生社会の形成に向けた特別支援教育のさらなる充実～

春を待つ子どもたちの声が、学校内に満ちています。全国の特別支援学級設置学校長の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、下記のとおり栃木県宇都宮市において、全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会・第31回関東甲信越地区研究協議会栃木大会を開催いたします。インクルーシブ教育体制の構築に向け特別支援教育を一層充実させるべく、校長としてのリーダーシップが強く求められています。公私とも御多用な時期とは存じますが、多くの方々の御参加をお待ちしております。

1 期 日 平成26年11月14日（金）午前10時30分～午後4時10分

2 会 場 栃木県教育会館大ホール
〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1-6
Tel 028-621-7177 Fax 028-621-0761



＜宇都宮美術館＞

3 主 催 全国特別支援学級設置学校長協会
栃木県特別支援教育連絡協議会

4 後 援（予定）
栃木県教育委員会 宇都宮市教育委員会
栃木県小学校長会 栃木県中学校長会
宇都宮市小学校長会 宇都宮市中学校長会
栃木県連合教育会 栃木県手をつなぐ親の会
日本教育公務員弘済会栃木支部
栃木県PTA連合会



＜松が峰教会＞

5 参加申込みなど

参加費は不要です。申込みの詳細は2次案内にてご案内いたします。
2次案内は平成26年6月頃にお届けいたします。

6 日 程

10:00	10:30	11:10	12:00	13:00	14:30	14:45	16:00	16:10
受付	開会行事	研修Ⅰ 実践発表1 質疑・講評	昼食・休憩	研修Ⅱ 実践発表2 実践発表3 質疑・講評	休憩	研修Ⅲ 記念講演		閉会行事

7 趣 旨

平成 19 年 4 月に特別支援教育が新たな制度としてスタートしてから、これまで、発達障害を含む障がいのある児童生徒の自立や社会参加を目指し、国を挙げた様々な取り組みが進められてきました。また、障害者の権利に関する条約の批准や障害者基本法の改正、それに基づく障害者制度の改革等、共生社会の実現に向け、障がい・福祉に関する社会の動向も大きな転換期を迎えております。

こうした中、学校教育においては、共生社会を形成していくための素地づくりが求められているところですが、「全校体制の支援の一層の充実」「障がいに配慮した多様な学びの場の充実」「通常の学級担任を含めた教職員の専門性の向上」等、課題が山積しており、校長自らが先頭に立って特別支援教育に対する理解を深め推進していくことが重要となっております。

本大会を通して、各校が抱える課題解決の糸口を見つけるとともに、新しい時代に生きる子どもたち一人一人の可能性を伸ばす特別支援教育の一層の充実が図られるよう努めていきたいと考えます。

8 内 容

○ 研修ⅠⅡ 実践発表

<実践発表 1>

「一人一人のニーズに応じた支援体制の充実」

栃木県矢板市立矢板小学校 加藤 泰明 校長

<実践発表 2>

「全ての教員で取り組む特別支援教育」

栃木県宇都宮市立富屋小学校 糸川 佳寿子 校長

<実践発表 3>

「学校の特色を生かした特別支援教育の推進」

栃木県宇都宮市立晃陽中学校 湯沢 一郎 校長

<研究協議>

<指導講評>

全国特別支援学級設置学校長協会参与 (元宇都宮市立昭和小学校長)

宇都宮市教育センター学校生活適応支援相談員 戸崎 克美 様

○ 研修Ⅲ 記念講演

「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」(仮題)
～インクルーシブな教育体制に向けて～

講師 宇都宮大学教育学部 教授 池本 喜代正 様

9 交通機関のご案内

- (1) JRをご利用の場合 (JR東北本線, 宇都宮線, JR東北新幹線)
「宇都宮駅」西口から 駒生営業所行き関東バス (20分) 「東中丸」バス停前
- (2) 東武電車をご利用の場合 (宇都宮線)
「東武宇都宮」前から 駒生営業所行き関東バス (15分) 「東中丸」バス停前
- (3) 自家用車等をご利用の場合
「東北自動車道」鹿沼IC 又は宇都宮ICより 20分
館内駐車場又は近隣駐車場をご利用ください。

<大会事務局> 大会実行委員長 上澤久子 (宇都宮市立戸祭小学校 校長)
〒320-0056 栃木県宇都宮市戸祭 1-10-25 TEL 028-622-6244 FAX 028-650-6096